

白い車体に青い帯、アクセントの赤いJRマーク
 今なお

九州の日常を支える415系



415系 100番代 (九州色)

N

10-1538 4両基本セット

10-1539 4両増結セット

JR九州承認済

より実車に近い形態にリニューアル。スモークガラスが特徴の300番代もリリース。



写真・川崎大輔



883系



787系

特急電車も充実のラインナップ

関連製品

813系200・300番代を製品化決定、3月発売予定



新製当初の座席はセミクロスシートの100番代ですが、ラッシュ対策としてオールロングシート化が実施されています。製品でもロングシートの室内を再現しています。

製品のPOINT

ロングシート化改造された室内を再現



今回の製品では両セットとも新規製作の日立製AU75BHクーラーを搭載した形態で製品化しています。色も九州独特の濃いグレーであることもポイントです。

製品のPOINT

日立製AU75BHクーラーを搭載



基本セットはすべて原形の側窓を再現



増結セットは一部が固定窓化された形態を再現

製品のPOINT

基本・増結セットで側面窓の形態を造り分け

国鉄時代に製造され、現在も鹿児島本線・日豊本線を中心に快速・普通電車として九州島内の地域輸送を支える415系100番代。車両の特性を生かし、島内の交流区間のほか、デッドセクションを越えて下関と結ぶ関門連絡でも活躍します。常磐線の同形式と塗装が似ていますが、九州色はより青みの強い青23号で、窓上にも帯があるのが特徴です。そのほかにも更新工事により屋根上のベンチレーターの撤去、一部側面窓の固定化、ラッシュ対策として座席配置のオールロングシート化などが実施されています。813系などのJR世代の交流電車に混ざって活躍する415系をお楽しみ下さい。